

全国



第 2335・6 号

ぜんこくしぎかいじゅんぱう

市議会旬報

令和8年 5月15日
(2026年)

毎月3回5の日に発行
発行 全国市議会議長会

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03 (3262) 5234
旬報 TEL 03 (3262) 5237
発行人 宮地 毅
https://www.si-gichokai.jp



議長会HP

四国市議会議長会

新会長・議案を決定

新会長は坂下高松市議長



坂下四国議長会会長
(高松市)

松市議会議長及び高松市長の挨拶、丸子善弘全国市議会議長会会長(山形市議会議長)の来賓祝辞、事務報告などがあつた。

四国市議会議長会は5月11日、高松市・ホテルパールガーデンで第88回定期総会を開催した。

議案審議では、令和8年度四国市議会議長会会計予算(案)及び各県市議会議長会提出議案12件を決定した(下表掲)。

このうち、3件を部会提出議案として5月27日開催予定の第102回定期総会へ提出する(他の地方議長会の議決一覧は第2334号掲載)。

続いて、役員改選を実施。新会長には、会則に基づき、坂下且人高松市議会議長を選任した。会議ではこのほか、高

自治体

病院協

定期総会

経営基盤安定化 医師確保・偏在解消

決議を決定

全国自治体病院経営都市議会協議会(会長 前誠一金沢市議会議長)は5月14日、東京・都市センターホテルで第54回定期総会を開催。令和8年度の事業計画、予算を決定するとともに、自治体病院の経営基盤安定や医師確保・偏在解消などを求める決議を採択。また、任期満了に伴う役員改選を行い、新会長に伊藤繁満出雲市議会議長を選任した。

前会長はあいさつで、
いて公立病院経営強化の
令和8年度政府予算にお
ための地方財政措置の拡

充が示されたことや政府
予算大臣折衝で診療報酬
本体がプラス3・09%と

続いて、来賓の谷公一

自治体病院議員連盟会長
(衆議院議員)の挨拶、平

井伸治全国自治体病院開
設者協議会会長(鳥取県

知事)からのメッセージ
代読、丸子善弘全国市議

評価に値するもの」とし
た上で、「しかしながら、

【2面へ続く】



前病院協
会長
(金沢市)



自治体病院議員連盟
会長
(衆議院議員)

決議(令和8年5月14日決定)

- 一、自治体病院経営の安定化につながるよう、経営状況及び経済・物価の動向を踏まえて必要な場合には、補正予算措置や診療報酬の改定を行うこと。
- 一、自治体病院が担う小児医療、救急医療、精神科医療、へき地医療、高度医療、周産期医療など政策医療や不採算医療について十分配慮し、地域医療の確保・維持のために必要な財政措置等を更に拡充すること。
- 一、医師確保、医師偏在解消のため、医師の地域偏在、診療科偏在、診療所の都市部への集中解消等の具体的な対策を総合的に講じること。また、医師偏在是正対策の定期的な効果検証を行い、十分な効果が生じるよう更なる対策を検討すること。
- 一、医師・看護職員が、仕事と子育て、介護を両立できる働きやすい環境の整備を支援すること。
- 一、医療従事者の負担軽減及び医師等の働き方改革を推進するため、タスク・シフト/シェア等の促進のほか、業務効率化に向けたICT導入等に必要経費に対する財政措置を拡充すること。
- 一、医師不足地域をはじめとする地域の医療提供体制を充実するため、オンライン診療等遠隔医療の積極的な推進体制を構築すること。
- 一、救急医療体制の改善のため、医療機関の適切な受診を広く国民に啓発するとともに、各地域で行っている救急医療電話相談等の普及・周知を図ること。
- 一、地域医療構想の取組推進に当たっては、個々の病院及び地域の事情を十分に踏まえるとともに、持続可能な地域医療提供体制の実現に向け総合的な支援を図ること。
- 一、大規模な自然災害が頻発する我が国における医療提供体制を確保するため、医療機関の地震災害・風水害・雪害対策等への支援を充実強化すること。

新役員一覧(理事除く)

- ▽会長=出雲市
- ▽副会長=美唄市、盛岡市、高岡市、北茨城市、岐阜市、赤穂市、倉敷市、高松市(会長職務代理者)、鹿児島市
- ▽監事=根室市、豊中市

新たに就任した伊藤会長は、橋本浩之副会長(高松市議会議長)を会長職務代理者に指名するとともに、前前会長に相談役を委嘱した。



丸子会長(山形市)



野北監事(多久市)



伊藤病院協新会長(出雲市)



佐井役員選考委員長(田辺市)

【1面から続く】

会議長会会長(山形市議会議長)の挨拶があった。協議では、令和7年度決算について野北悟監事(多久市議会議長)から監査結果報告があり、認定。続いて「と題して講演した。

て、令和8年度事業計画、予算について決定した。当日はまた、総務省大臣官房の福島秀生審議官(公営企業担当)が「公立病院経営強化の推進について」と題して講演した。

役員改選

新会長に伊藤出雲市議長

役員改選では、佐井昭子役員選考委員長(田辺市議会議長)から正副会長・監事・理事候補の選考結果の報告があり、新会長に伊藤繁満出雲市議会議長を選任。他の役員についても全会一致で選任した。

決議を決定 仁木厚労副大臣へ要望



仁木厚生労働副大臣(右から1人目)に要望

また、5月19日、伊藤会長と橋本副会長は自治体病院議員連盟総会に出席し、要望を行う予定。

総会終了後、新会長は仁木博文厚生労働副大臣を訪ね、決議を手交の上、要望を行った。

た(全文を左上掲)。

iJAMP「市議会最前線」/鳥取県倉吉市



倉吉市議会公式チャンネル

市議会が進める独自の取組を毎月紹介する時事通信社 iJAMP「市議会最前線」。5月は鳥取県倉吉市議会が取り組む「歴史と伝統が息づく倉吉の伝統×議会DX」を紹介しています。

本記事は、本会ウェブサイト「議会改革の取組」でご覧になれます。

☑️ トップページ > 議会改革の取組 > iJAMP 市議会最前線



昭和100年記念式典

政府 日本武道館で開催



昭和100年記念式典の様相 (出典:首相官邸HP)

令和8年(西暦2026年)が昭和元年(西暦1926年)から100年の節目にあたることを受け、政府は4月29日、昭和100年記念式典を東京・日本武道館で開催した。

天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、式典委員長を

務める高市早苗内閣総理大臣はじめ国務大臣や衆・参両院の正副議長、国会議員や地方自治体の長及び地方議会議長ら約5620人が参列。本会からは、丸子善弘会長(山形市議会議長)が参列した。

高市首相は式辞で、少子化・人口減少の進行、物価高、潜在成長率の低迷、厳しく複雑な安全保障環境や国際秩序の大きな揺らぎなど、政治・経済の不確実性が高まっていることを指摘し、「今こそ、激

動の昭和を生き、先の大戦や幾多の災害を乗り越え、希望を紡ぎ出した先人たちに学び、私たちが果敢に挑戦していく必要があるのではないかと述べ、「若者たちが日本に生まれたことに誇りを感じ、未来は明るい」と自信を持って言える国を創り上げていく。『日本列島を強く豊かに。』日本に希望を生み出していく」と決意を語った。

昭和100年

各地でイベント等開催

現在、「昭和100年」の機運を盛り上げるため、全国各地でイベントや企画展示などの催しが開催されている。

「昭和100年」関連施策は、内閣府「昭和100年」ポータルサイトで紹介されている。

5月15日現在の市区数

指定都市	20市
中核市	62市
施行時特例市	23市
一般市	687市
特別区	23区
計	815市区

議会人事

(5月8日報告分まで掲載)

▽議長	飯田幸弘(2・12)	▽副議長	兼平直紀(2・12)	▽丹波篠山	原田豊彦(5・1)
▽四街道	坂本弘毅(3・4)	▽大和	赤嶺太一(5・8)	▽出雲	寺本淳一(5・1)
▽東海	富田博巳(4・10)	▽出水	北御門伸彦(5・7)	▽小松島	杉本 勝(5・1)
▽逗子	丸山治章(4・13)	▽始良	有川ひろみ(5・1)	▽うきは	竹永茂美(5・1)
▽下松	近藤康夫(4・20)	▽東垣	不破光司(5・7)	▽土佐	所 紀光(5・7)
▽北見	高橋克博(4・22)	▽北見	加城博志(4・22)	▽大垣	日高信一(5・7)
▽坂戸	森田文明(4・22)	▽上田	弓削勇人(4・22)	▽大和	金原忠博(5・8)
▽香芝	中山武彦(4・22)	▽御前崎	植田浩之(4・24)	▽関	池村真一郎(5・8)
▽上田	飯島伴典(4・23)	▽静岡	丹沢卓久(4・27)	▽東海	山田祐輔(11・27)
▽御前崎	植田浩之(4・24)	▽弥富	高橋八重典(4・27)	▽東海	山田祐輔(11・27)
▽静岡	丹沢卓久(4・27)	▽四万十	山崎 司(4・27)	▽西都	村岡修一(4・1)
▽弥富	高橋八重典(4・27)	▽神埼	原口ひさよ(4・27)	▽尾花沢	本間孝一(4・1)
▽四万十	山崎 司(4・27)	▽天草	若山敬介(4・27)	▽十日町	上野新吾(4・1)
▽神埼	原口ひさよ(4・27)	▽国東	森 正二(4・28)	▽勝山	今井正敏(4・1)
▽天草	若山敬介(4・27)	▽男鹿	三浦利通(4・30)	▽逗子	西海 隆(4・1)
▽国東	森 正二(4・28)	▽南房総	石井教字(4・30)	▽鶴ヶ島	長谷部隆(4・1)
▽男鹿	三浦利通(4・30)	▽名張	永岡 禎(4・30)	▽四街道	多田雅史(4・1)
▽南房総	石井教字(4・30)	▽下呂	尾里集務(4・30)	▽丹波	青木秀史(4・1)
▽名張	永岡 禎(4・30)	▽西都	橋口登志郎(4・30)	▽生駒	岩井善幸(4・1)
▽下呂	尾里集務(4・30)	▽田村	佐藤重実(5・1)	▽出雲	馬庭やよえ(4・1)
▽西都	橋口登志郎(4・30)	▽坂井	前田嘉彦(5・1)	▽下松	佐伯美菜(4・1)
▽田村	佐藤重実(5・1)	▽中野(長野)	塚田一夫(5・1)	▽美馬	和田啓明(4・1)
▽坂井	前田嘉彦(5・1)	▽那須烏山	相馬正典(5・1)	▽五島	横枕孝規(4・1)
▽中野(長野)	塚田一夫(5・1)	▽小松島	池淵 彰(5・1)	▽津久見	野々下直人(4・1)
▽那須烏山	相馬正典(5・1)	▽うきは	熊懐和明(5・1)	▽国東	泉 文彦(4・1)
▽始良	新福愛子(5・1)	▽那須烏山	小堀道和(5・1)	▽日向	堀田浩一(4・1)
▽小松島	池淵 彰(5・1)	▽中野(長野)	江口栄光(5・1)	▽出水	田口 保(4・1)
▽うきは	熊懐和明(5・1)	▽坂井	上坂健司(5・1)		
▽新福愛子(5・1)		▽那須烏山	小堀道和(5・1)		
		▽中野(長野)	江口栄光(5・1)		
		▽坂井	上坂健司(5・1)		
		▽田村	二瓶恵美子(5・1)		
		▽西都	浦田明子(4・30)		
		▽浅口	斎藤貴士(4・30)		
		▽下呂	田中喜登(4・30)		
		▽名張	坂本直司(4・30)		
		▽南房総	佐藤喜久雄(4・30)		
		▽男鹿	後藤貴志(4・28)		
		▽国東	古川理沙(4・28)		
		▽天津	小川圭三(4・27)		
		▽神埼	徳川博人(4・27)		
		▽四万十	寺尾真吾(4・27)		
		▽弥富	加藤克之(4・27)		
		▽静岡	福地 健(4・27)		
		▽御前崎	二俣秀明(4・24)		
		▽上田	齊藤加代美(4・23)		
		▽坂戸	弓削勇人(4・22)		
		▽北見	加城博志(4・22)		
		▽下松	松尾一生(4・20)		
		▽東海	江川祐之(4・10)		
		▽四街道	兼平直紀(2・12)		
		▽大垣	不破光司(5・7)		
		▽始良	有川ひろみ(5・1)		
		▽うきは	竹永茂美(5・1)		
		▽小松島	杉本 勝(5・1)		
		▽出雲	寺本淳一(5・1)		
		▽大垣	不破光司(5・7)		
		▽土佐	所 紀光(5・7)		
		▽大垣	日高信一(5・7)		
		▽大和	金原忠博(5・8)		
		▽関	池村真一郎(5・8)		
		▽事務局長			
		▽東海	山田祐輔(11・27)		
		▽潮来	小谷野美樹夫(4・1)		
		▽西都	村岡修一(4・1)		
		▽尾花沢	本間孝一(4・1)		
		▽十日町	上野新吾(4・1)		
		▽勝山	今井正敏(4・1)		
		▽逗子	西海 隆(4・1)		
		▽鶴ヶ島	長谷部隆(4・1)		
		▽四街道	多田雅史(4・1)		
		▽丹波	青木秀史(4・1)		
		▽生駒	岩井善幸(4・1)		
		▽出雲	馬庭やよえ(4・1)		
		▽下松	佐伯美菜(4・1)		
		▽美馬	和田啓明(4・1)		
		▽五島	横枕孝規(4・1)		
		▽津久見	野々下直人(4・1)		
		▽国東	泉 文彦(4・1)		
		▽日向	堀田浩一(4・1)		
		▽出水	田口 保(4・1)		

第59回『都市問題』
公開講座

公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所
The Tokyo Institute for Municipal Research



原発事故被災地における暮らしの再生—東日本大震災15年

東日本大震災の発災から15年が経過する。津波被災地では復興事業がほぼ完了し、市街地の再建とともに「まちのつくり直し」という新たな段階に入っている。一方、原発事故により住民が避難を余儀なくされた地域では、除染や生活インフラの整備が進められ、避難指示の解除が段階的に行われてきたが、帰還する人、他の地域で生活を続ける人、新たに移住する人など、住民の選択や暮らし方は一様ではない。

本企画では、原発事故により避難指示が出されていた地域に帰還した住民／移住してきた住民の暮らしや、地域コミュニティの現在に焦点を当てる。住民一人ひとりの選択や葛藤、地域の変容に目を向け、いかにして被災の現実に向き合い、地域の暮らしを取り戻そうとしてきたのか、そして、これからどのように暮らしを紡ぎ直していくのかについて、複数の地域・立場の人びとに語っていただく。

日程・会場

日程 令和8年6月20日(土)
13:00～16:00(開場12:30)
場所 日本プレスセンター 10階ホール
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1
参加費 無料

申込要領

参加申込 後藤・安田記念東京都市研究所
ホームページより [☑](#)
申込期限 令和8年6月18日(木)
※満席となりしだい受付を終了します。

出演者

基調講演

南相馬市長 門馬 和夫氏

パネルディスカッション

いわき・双葉の子育て応援コミュニティ
cotohana共同代表 小林 奈保子氏
一般社団法人葛力創造舎代表理事、
東北芸術工科大学専任講師 下枝 浩徳氏
おおくまふるさと塾 塾長 渡部 正勝氏
【司会】
追手門学院大学地域創造学部教授 田中 正人氏

お問合せ先

公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-3 市政会館5階 TEL: 03-3591-1201 FAX: 03-3591-1209
<https://www.timr.or.jp/>

地方議会議員向けの情報を掲載した「議員専門誌」 月刊 地方議会人 共同編集 全国市議会議長会 全国町村議会議長会

月刊「地方議会人」とは？
全国市議会議長会・全国町村議会議長会の共同編集により、全国の地方議会議員向けの情報を掲載した議員専門誌です。

A4判 68ページ 年間購読：11,472円(単月号956円) 税・送料込
※「地方議会人」本誌は、毎月紙の雑誌でお届けいたします

- ### 「地方議会人」・本誌の概要
- ① 地方議会・地方自治をテーマに多彩な特集や現地事例を解説
 - ② 議員力アップ、議会運営の手引となる様々な連載
 - ③ わかりやすい議会広報紙のつくり方を専門講師が解説
 - ④ 議会アドバイザー等、有識者による先進事例の紹介

「地方議会人」本誌購読の参考としてデジタルブックにてサンプル号を無料で読むことができます！！ [☞コチラ](#)

デジタルブックの主な収録内容

有識者による地方議会の議会力・議員力アップにつながる特集記事 01	先進的な政策づくりに取り組む議会の現地報告 02
地方議員・議会にとって参考となる多彩な連載(一部収録) 03	議会広報紙作成・改善に役立つ広報研修の連載 04

議員研修誌「地方議会人」お申込み、お問い合わせについて
株式会社中央文化社ホームページもしくは、下記連絡先までお問い合わせください。
株式会社 中央文化社 TEL: 03-3264-2520

共同編集：全国市議会議長会・全国町村議会議長会
議員研修誌 月刊 地方議会人 2026 5
A4判・68頁・定価956円(年間購読料11,472円)

特集 自治会・町内会との向き合い方

- 巻頭言 地方自治に思う
コミュニティ自治の変容とミライの地方議会・議員
東京都立大学法学部教授 大杉 覚
- 特集
▶ これからの自治会・町内会と地方議会の役割
放送大学教養学部教授 玉野 和志
- ▶ 自治会・町内会の現状と課題そして再生への道
合同会社フォーティR&C代表 地域活性化・まちづくりコンサルタント 水津 陽子
- ▶ 「縮減社会」における自治会・町内会に地方議会はどのように関わるか
山梨学院大学名誉教授 日高 昭夫
- ▶ 地域コミュニティ再構築のために今後の自治会のあり方を考える
岐阜協立大学経済学部准教授 菊本 舞
- 現地報告
▶ 岐阜県羽島市／議員提案による自治会加入促進条例制定とその後
羽島市議会議員(前議長) 野口 佳宏
- ▶ 鹿児島県十島村／行政・議会・自治会が連携して災害に対応
トカラ列島の群発地震
鹿児島県十島村教育委員会(前議会事務局長) 作井 武司
- ▶ 山形県尾花沢市／地区ごとに丁寧な広報・広聴活動を「意見交換会実施規程」の制定と今後の展望
尾花沢市議会広報公聴委員会委員長 青野 隆一
- 地方議会が向き合うべき新たな課題への対応
議会活動・議員活動のモデル例
全国町村議会議長会企画調整部長 飯田 厚
- 広報・研修資料
第40回町村議会広報全国コンクール 講評
議会広報サポーター
審査委員長 芳野 政明
自治体広報聴研究所 代表理事 金井 茂樹
審査委員 金井 茂樹
未来交創株式会社代表 文章コンサルタント
審査委員 前田 安正